



佐賀市立南川副小学校だより

No. 11

令和5年11月15日 文責:古川孝宏

「自分を磨く子どもの育成
～自ら学び 心豊かに たくましく 生きる南っ子～」



- 1 自分で考え行動します
- 2 相手の気持ちを考えます
- 3 あきらめず挑戦します

学校HPのQRコードです ⇒



☆6年生修学旅行・1～5年生バス遠足☆

11月9日(木)・10日(金)に6年生の修学旅行、10日(金)に1～5年生のバス遠足を行いました。6年生の修学旅行は、フィールドワークを中心とした長崎への平和学習と歴史・文化の学習でした。インフルエンザ等でどうなるのか心配をしていましたが、6年生が全員参加してのすばらしい修学旅行となりました。

1日目は平和学習で、最初に原爆資料館を見学しました。熱心に見学し、しおりにメモをしていました。その熱心な様子に、同じように見学に来ていた高校生たちがびっくりしていました。その後、追悼平和祈念館で平和集会を行い、千羽鶴を捧げてきました。昼食後は、フィールドワークを行いました。6つの班に分かれ、事前に考えたルートをまわり、城山小学校、山王神社、原爆落下中心地、山里小学校、如己堂、浦上天主堂等を見学しました。夜のホテルでは、語り部の方から被爆体験や平和への思いについて話をいただき、子ども達は真剣な表情で聴いていました。「最後の被爆者が亡くなりました、というニュースがいずれある。」という言葉聴き、いつまでも被爆者の生の声を聴くことができるわけではないと改めて思いました。この日、話を聴いた6年生の子ども達が、語り部の方からの平和のバトンを受け取り、平和な社会を築いてくれることを願います。

2日目は、歴史と文化の学習でした。長崎歴史文化博物館を見学した後、1日目と同じように班に分かれフィールドワークを行いました。博物館をスタート、グラバー園頂上をゴールに歴史情緒あふれる長崎をまわりました。地図を見ながら、自分たちだけでまわるので、道をまちがえたり、反対の方角へ行ったりと苦労しながらのフィールドワークでした。そのような中でも、仲間で励まし合い、力を合わせ、時には地元の方に道を尋ねながらゴールを目指しました。班の中には、順調にまわれたので、当初の計画より見学地をプラスした班もありました。



バスに乗車して出発



原爆資料館に到着



千羽鶴奉納



ホテルでの夕食

今回の修学旅行で、**南川副小学校の最上級生**として、**時間を守り、仲間と協力し、熱心に学習に取り組んでいる姿に改めて感心しました**。添乗員さんや語り部の方から、**素晴らしい子ども達ですねとお褒めの言葉をいただきました**。学習面以外でも、チリンチリンアイスを食べたり、ホテルの部屋でクラスメートと談笑したり、中華街で昼食を食べたりと楽しい思い出もたくさんできたようです。

1～5年生の**バス遠足も大きな事故等もなく、充実したもの**になったようです。今回の修学旅行とバス遠足で**よい思い出**をつくることができました。**これも保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました**。ただ、体調を崩し、参加できなかった子ども達が少なからずいることも事実です。今後も新型コロナやインフルエンザ等の感染症対策をしっかりと行いながら学校運営を進めてまいります。



中華街に到着

☆不審者侵入避難訓練・防犯教室☆

11月13日(月)2校時、佐賀南警察署から来校いただき、**不審者侵入避難訓練・防犯教室**を行いました。警察署の方に不審者役をしていただき、子ども達の避難だけでなく、**我々教職員の不審者への対応の訓練**も行いました。1年1組の教室の外に不審者が来たという想定で、廊下にバリケードをつくったり、数名の職員がさすまたを持って対応に行ったりしました。また、110番通報も実際に行い、対応の指導を受けました。



警察署の方の講話

訓練後は、**体育館で防犯教室**も行いました。警察署の方からは、日常の安全を守るために「**小さなことに気づいてほしい。そして、それを大人の人に教えてほしい。**」との話がありました。話の後は、ちょっとした護身術の一つを教えていただき、子ども達は、二人組で実際に体験していました。



実際に護身術を体験

この訓練を行うたびに思い出すのは、平成13年の大阪府の池田小学校の事件です。同じようなことが二度とないよう今まで以上に危機意識をもちたいと気を引き締めたところです。

☆家庭学習がんばろう週間☆

11月13日(月)～19日(日)は、「**家庭学習がんばろう週間**」です。川副中校区では、南川副小学校を含む4小学校で1学期同様実施しているところです。**家庭学習時間の目標を学年ごとに設定**しています。目標時間達成のために、宿題とともに読書や自主学習に取り組むよう声かけをお願いします。

目標となる家庭時間

1・2年生	30分以上
3年生	40分以上
4年生	50分以上
5年生	60分以上
6年生	70分以上

長年、中学校の教員をしてきましたが、学習面において、家庭学習はとても重要な要素の一つです。担当していた中学生を思い出すと、家庭学習の習慣がついている生徒は、中学3年生のころの高校受験の勉強もスムーズでした。やはり、小学生の時から習慣化することが大切です。